

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2021年11月10日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	松永一美
レジメン名	ビーリンサイト(体重45kg未満)(神経学的事象出現時)	1-5サイクル目【計5回】3日/4日交互	化学療法委員会承認年月 年 月
疾患名	B細胞性急性リンパ性白血病	再発又は難治性のB細胞性急性リンパ性白血病	
適応分類	進行・再発、寛解導入療法、 地固め療法	適応の備考	神経学的事象が出現した場合に用いる
1コース日数	42 日間	総コース数	5 コース 催吐性リスク 軽度

抗がん剤投与量・投与日 ビーリンサイト5 $\mu$ g/m<sup>2</sup>/day day1~28

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	~	42		
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30 分	●																																
	中心静脈注射	テキサート注6.6mg	2 本 / body		●																																
	注射	テキサート注1.65mg	2 本 / body		●																																
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	72 時間	●							●							●							●											
	中心静脈注射	生食20mL	1 本 / body		●							●							●							●											
	注射	注射用水100mL	1 本 / body		●							●							●							●											
		ビーリンサイト	17.39 $\mu$ g / m <sup>2</sup>		●							●							●							●											
1日あたりの投与量は5 $\mu$ g/m <sup>2</sup> (ただし9 $\mu$ g/dayを超えないこと)																																					
投与速度は、投与時間が72時間の場合は3.3mL/hr、96時間の場合は2.5mL/hr																																					
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body	96 時間					●						●							●															
	中心静脈注射	生食20mL	1 本 / body						●						●							●															
	注射	注射用水100mL	1 本 / body						●						●							●															
		ビーリンサイト	22.96 $\mu$ g / m <sup>2</sup>						●						●							●															
1日あたりの投与量は5 $\mu$ g/m <sup>2</sup> (ただし9 $\mu$ g/dayを超えないこと)																																					
投与速度は、投与時間が72時間の場合は3.3mL/hr、96時間の場合は2.5mL/hr																																					

【投与上の注意】

- ・神経学的事象出現時は、ビーリンサイト(神経学的事象出現時)のレジメンを用いること。
- ・ビーリンサイト:投与速度は、投与時間が72時間の場合は3.3mL/hr、96時間の場合は2.5mL/hrとする。
- ・ビーリンサイト:設定した時間が経過したら、残破棄して新しいものに交換すること(残破棄せず全量投与すると過量投与となるため)。
- ・ビーリンサイト:投与ルートは薬剤溶解液で満たしておく。
- ・ビーリンサイト:輸液バッグ交換時等にフラッシュを行わないこと(カテーテルロックの際のフラッシュ等は許容)。
- ・ビーリンサイト:ビーリンサイト投与後の直接のヘパリンロックは禁止(ヘパリンロック前に生食でフラッシュすること)。
- ・0.2 $\mu$ mのインラインフィルターを使用して投与すること。

【調製手順】

- ①生食250mLバッグに生食20mLを加え、合計270mLとする
- ②①で調製した生食バッグに輸液安定化剤5.5mLを泡立たないように注入、攪拌する
- ③新しいシリンジを用い、ビーリンサイト1Vにつき注射用水3mLで溶解(この時、振らずにゆっくりと攪拌)し、必要量をとる
- ④調製済みの輸液バッグから、薬液250mLを秤取し、携帯型精密持続輸液ポンプのカセットに充填する。